

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適用土壌	使用上の注意
VI 体 系 是 正 (つづき)	11) MS-358 粒 (つづき)				ウリカワ：3 L まで。			
	12) SL-494 粒 (パコム粒剤)	茎葉・土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは寒冷地以北のみ。ミズガヤツリは寒地を除く。ヒルムシロは寒地と温暖地西部以西の普通期のみ。〕	+7～+12 (ノビエ 2.5 L まで)。 〔但し、寒地はノビエ 1.5 L まで。寒冷地と暖地の早期はノビエ 2 L まで。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ：2 L まで。 〔但し、暖地早期のホタルイとミズガヤツリは発生始まで。〕 ウリカワ：4 L まで。 ヒルムシロ：発生期。	g/a 300～400 〔但し、砂壌土は 300 のみ。〕	砂壌土～埴土 (2 cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の早期は埴土～埴土 (1 cm/日以下)。 暖地の早期は埴土～埴土 (1 cm/日以下)〕	1) ミズガヤツリに対し、遅い処理では 400 g/a 散布する。

注：1) 薬剤名欄の下段に商品名〔() 内〕と登録後予定される商品名〔() 内 アンダーライン実線付〕を参考のために記載した。

2) アンダーライン実線は本年度拡大された部分、点線はその一部が拡大されたもの。

編 集 後 記

啓蟄……冬ごもりしていた虫が這いだしてくる頃だというのに、雪が舞いおち、氷河期に戻ったような寒い日が続く。このような寒気のためか、関東地方では梅の開花が2週間もおくれているという。3月に入っても未だ寒気が去らず、この異常気象に作物はどのようにして耐えているのであろうか。菜の花やキンセンカなどの花は開花しているものの、この寒さにふるえているようで、生育もあまりよいとはいえない。この異常寒波は、作物を栽培する者にとってはよい教訓となったであろうが、この経験を生かして作物の栽培計画に誤りのないように願いたい。品種の改良が進み、低温下で栽培できる品

種が出現したとしても、厳冬期での加温は当然必要となるであろうが、栽培技術の向上でこれを補ないたいものだ。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03) 832-4188 (代)

昭和59年3月発行

植調第17巻第12号

¥300 (送料170)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03) 833-1821 番(代)